

『時事直言』 No.1701 2024年10月21日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)



時事評論家 増田俊男

旧自民党を潰す勇気がなかった石破

17日の時事通信の世論調査の結果石破内閣の支持率は28%で、歴代内閣で最低であった森内閣の33%より低くなった。

自民総裁選で新総裁が石破茂に決まったとたんにニッケイ平均が1,900円下げた市場の反応を考えれば当然なのかも知れない。

自民党が民主党から政権を奪還した2012年の12月の衆院選で480議席中294議席、2014年12月の衆院選で291議席、2017年10月の衆院選で284議席、2021年10月の衆院選で261議席を獲得し、いずれも自民単独で過半数を維持出来たのは総て安倍晋三の遺産である。

安倍後の菅、岸田内閣は自民党主流派として安倍遺産を引き継いだだけだから安倍垂流であった。

自民で反主流派を貫いてきた石破茂は安倍遺産を引き継ぐことは出来ない。

自民党員から反主流派の石破が総裁に選ばれたのは自民党員が主流派では出来ない国民に信頼される新しい自民党を石破に期待したからである。

かつて反主流派であった小泉純一郎が、「自民党をぶっ壊す」と言って国民から信頼を失った自民を救ったように、石破は自民党をぶっ壊す覚悟で「新しい自民党」を作らなくては自民党員と国民の期待を裏切ることになる。

石破は「新しい自民党」の旗を挙げて自民党を結束に導こうとしなかった。

高市早苗の反発や、旧安倍派の離反で党内の統一が出来なくなると(党内より)「国民との共感」が大事などと詭弁を弄し、裏金問題議員の処分は小泉進次郎にやらせ、自分は手を汚さない。

進次郎の父、小泉純一郎は郵政民営化反対議員を全員除名し、選挙区に刺客を送って落選に追い込んだ。

裏金問題議員に対する処分は石破自身が矢面に立ち、正に自民党をぶっ壊す覚悟でやるべきであったのにしなかった。

石破の生半可さは自民党員のみならず、国民の失望を買った。

安保改定(日米地位協定改定)、アジア版 NATO 等石破の持論がハドソン研究所に寄稿したことから明らかになったが、一切国会でもどこでも議論したことがなく、私に言わせるならすべて「絵に描いた餅」である。

野党や自民反主流派の立場で空論や夢を語るのは良いが、国家の最高責任者になると出来もしないいい加減なことを言うてはならない。

石破は憲法改正(第9条改正のこと)を公約にしたが、バイデン大統領(のみならず歴代の大統領も)が「日本の憲法はアメリカが作った」と公言していることの意味が全く分かっていない。

憲法第9条改正は日本の一存では出来ないのだから、選挙公約にすべきかどうか慎重に考えるべきであった。

2005年私は、当時防衛大臣であった石破氏と私が主幹をしていたある政治・経済専門誌のインタビューをしたことがあったが、石破氏の言う数多くの米軍の対日特権が事細かく規定されている日米地位協定を何としても改定したいと言われていたが、私は日本と同じ大戦の敗戦国ドイツもイタリアにも米軍基地があるが日本のように治外法権になっていない。

私は石破大臣に何故かよくお考えになってはどうかと指摘したことがある。

防衛に関する最近の石破氏の言動から在日米軍が何故アメリカ合衆国憲法下にあるのかわかっていない。

自主外交、自主防衛と言っても「枝葉ではなく幹」から変えねば何も出来ないことがまだわかっていないのである。

アジア版 NATO はグローバルサウスに笑われ、憲法改正はアメリカに聞く耳を持たないと言われる。

一国のトップになったら「正直でまじめ」だけでは国民の為に何も出来ない。

石破内閣支持率 28%で、自民は衆院選どこまで戦えるかわからないが、石破に輪をかけたほど国際政治音痴の野党がせめてもの救いだ。

仮に自民、公明で衆院過半数を取れても、自滅が前提だから短命政権に終わる。

石破後の自民次期総裁に関心が移るが、高市早苗は、包容力が無いから不適格、小泉進次郎は、才能はあるが、父純一郎が言う通りまだ早い。

これから日本は混とん政治時代が長く続く。

小冊子 Vol. 143 で「アメリカの虚像と実像」を知れば真の日本が分かる。

大好評配信中！増田俊男の「インターネット目からウロコの増田塾」

いつでも繰り返し何度でも視聴可能！

皆様からのご要望にお答えし、「株式指南」を継続的に配信するコンテンツをスタートします。是非、この機会にお申し込みください。

【配信予定内容】○損をさせない「早朝株式指南」○本日の世界政治・経済情勢の裏（真実）

★いつでも繰り返し何度でも視聴可能。ご視聴方法：PC・スマートフォン・タブレット ※Youtubeの視聴環境が必要となります。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313、HP：<http://chokugen.com/>）まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313）までお知らせ下さい。